

岡山市政ニュース 速報版

2023年10月13日 No.294 日本共産党岡山市議団

岡山市北区大供 1-1-1 ☎086-803-1707

詳しくは団HPで→



核兵器禁止条約 政府に行動求める意見書採択

13日の本会議で、岡山市議会として「核兵器禁止条約を批准できる環境を整備することを求める意見書」を全会一致で採択しました。意見書は、政府や国会に送られます。

意見書は広島・長崎の両市議会議長からの要請に対応したもので、政府に対して、今年11月開催予定の第2回締約国会議にオブザーバー参加することと、核兵器禁止条約を批准できる環境を整備することを強く求めています。

岡山市議会では、核兵器禁止条約の批准を日本政府に求める陳情が20年と22年に不採択にされていました。今回、批准を直接的に求めるものでないとはいえ、条約批准に向けて具体的な行動を取るよう政府に求める意見書が全議員の賛成で採択されたのは、画期的です。

党市議団は引き続き、政府の条約批准をめざしてがんばります。

発言時間制限はやめるべき

岡山市議会23年9月定例会は、2022年度の決算関連議案19件を認定・同意して閉会しました。党市議団はうち3件に反対し、東つよし議員が討論しました(右写真)。共産以外の会派・議員はすべて賛成でした。

今議会では初めて、会期中に決算特別委員会を設けて代表質疑と分科会審査を行いました。分科会では、これまで時間制限のなかった議員の発言時間が1日20分までとされました。

他会派は「各会派に平等なやり方」「時間制限によつて的を絞ったコンパクトな議論が出来た」などと言います。従来2~3日かかっていた審査を1日で終わらせた分科会(委員会)もありました。議員の発言時間切れで、そもそも審議できなかった案件が、ほとんどの分科会で発生しました。

市民の立場に立って税金の使い方をチェックする議会の役割を果たせとは言えません。発言時間制限はやめるべきです。

(案)

核兵器禁止条約を批准できる環境を整備することを求める意見書

昨年6月に開催された核兵器禁止条約第1回締約国会議では、核兵器の非人道性を再確認するとともに、核兵器に依存した安全保障を批判し、条約への参加促進や核被害者援助など、条約の内容を実現する方策を盛り込んだ最終文書である「ウィーン宣言」と具体的な手順や行動を定めた「ウィーン行動計画」が採択された。

この会議には、核の傘の下にありながらオブザーバー参加した国があったものの、核保有国やその同盟国の多くは参加せず、今後、核兵器禁止条約の実効性を高めるためには、これらの国の参加が大きな課題となっている。

また、核兵器禁止条約の効果的な運用と発展のためには、核保有国やその同盟国を始め多くの国が参加し議論が行われることが重要である。

そして、令和4年にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻などがあり、武力による脅威を感じている。こうした中、本年5月、被爆地である広島においてG7広島サミットが開催され、G7首脳が平和記念公園を訪れ被爆の実相に触れた。

被爆から75年以上が経過した今もなお核兵器使用のリスクに世界が直面する中で、唯一の被爆国である我が国は、核兵器廃絶の実現に向け特別の役割と責任を負っている。

ついでに、国会及び政府におかれては、本年11月に開催予定の第2回締約国会議に日本国政府としてオブザーバー参加するとともに、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど、核兵器禁止条約を批准できる環境を整備することを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年 月 日

岡山市議会議長 田口裕士



11月議会の日程

★請願・陳情締切 11/21 (火)

11/27 議運委 11/30 開会 12/6~11 一般質問 12/12 常任委 12/14 議運委 12/15 閉会